

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	楽器レッスン3	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	ヴォーカリストコース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	課題曲の譜面はこちらで用意する。自由曲は自身で譜面を書いて持ってくる。				
担当教員情報					
担当教員	鳥居隼		実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン	
学習目的					
コードしっかりと理解すると同時に、コードを追ってプレイできるようになる。弾き語りやバンドギター、エレキ、アコギ等、それぞれが目標とするものを明確にし、それに沿った技術を習得する。また一人でギターをDTMでの打ち込みが出来るようになることを目標にする。					
到達目標					
基本的なコードを覚え、押えられるようにする。オリジナル、カバー問わず、自分で選曲した曲を弾けるようになる。シンガーソングライター希望の学生は自身でコード付けた曲を自分で演奏できるようになる。また、曲の構成を理解し、Ａメロ、Ｂメロ、サビ等それぞれのセクションに沿った伴奏(演奏) を出来るようになる。間奏ソロのメロも出来るだけ自身で考えてプレイできるようにする。					
教育方法等					
授業概要	音楽知識レベル、演奏スタイルによってグループに分かれ、自身が選択した曲の譜面、またはあらかじめ配布された楽譜を予習してくる。コードを読み取って、ある程度弾ける状態でレッスンに臨む。				
注意点	個人差が大きい為、レベル別でのグループレッスンを行う。また、弾き語りやバンドギター等、目標に応じた内容のレッスンを個別に行っていく。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス 曲決め		初心者にはギターの構え方、中級からは楽曲を選び、レッスンへ入る		
2回	楽器を響かせる		響きに意識をもって演奏を行う		
3回	弾き語り		弾き語りの実践に入る 楽器の位置など確認する		
4回	任意の楽曲で実践		オリジナル、カバー問わず、弾き語りの実践を行う		
5回	グループでの確認		グループで動画を撮影し、自身の演奏スタイル等、客観的に確認する		
6回	ボーシング		音の響きを決め、押え方を自身で考える		
7回	コードについて		テンションを含むコードを実際にならしてみる		
8回	テンションコード		既存曲の3和音を全てテンションを入れて実践してみる		
9回	弾き語り2		弾き語りで授業内での発表を行う		
10回	奏法について		自分の曲にあった奏法を今一度確認する		
11回	オープンスペースでのライブ		レベル別に弾き語りのミニライブを行う		
12回	リズムの確認		リズムが揺れていないか、一定のテンポキープできているかの確認		
13回	運指について		再度、響きも考えながら運指の確認をする。(なるべくテンションを使用)		
14回	発表会に向けてのまとめ		発表会に向けてブラッシュアップを行う		
15回	前期まとめ		発表会		